

A会場(3F ボールルーム C+D)

8:50~9:00 開会式

9:00~10:20 優秀演題賞発表&表彰式

抄録 P. 101

座長：福島 聡(熊本大学 皮膚科)

猪爪 隆史(千葉大学 皮膚科)

A-1 TCR レパトア解析による菌状糸肉症における T 細胞クローン性パターンの解析
坂井田高志(さかいだ たかし)、渡邊大起、金山佳史、櫻井麻衣、榎本由季、
山本 礼、森田明理
名古屋市立大学 皮膚科

A-2 有棘細胞癌の患者背景と予後：35 年間の変遷
竹之内辰也¹(たけのうち たつや)、結城明彦¹、林 政雄^{1,2}、高塚純子¹
¹新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科、²富山大学 皮膚科

A-3 非メラノーマ皮膚癌に対するニボルマブの効果についての検討：6 施設から
集積した 46 例の解析
吉野公二¹(よしの こうじ)、加藤裕史²、吉川周佐³、岩田浩明⁴、前川武雄⁵、藤澤康弘⁶
¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²名古屋市立大学 皮膚科、
³静岡県立がんセンター 皮膚科、⁴岐阜大学 皮膚科、
⁵自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、⁶愛媛大学 皮膚科

A-4 パクリタキセル既治療原発性皮膚血管肉腫に対するパゾパニブ療法の非ラン
ダム化検証的試験 JCOG1605 結果報告
緒方 大¹(おがた だい)、日浦 梓^{2,3}、横山昌幸⁴、中村泰大⁵、上原治朗⁶、高橋 聡⁷、
並川健二郎¹、森章一郎⁸、大芦孝平⁹、山崎直也¹
¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、
²がん・感染症センター都立駒込病院 皮膚腫瘍科、³帝京大学 皮膚科、
⁴JCOGデータセンター、⁵埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、
⁶がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、⁷国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科、
⁸名古屋大学 皮膚科、⁹埼玉県立がんセンター 皮膚科

A-5 センチネルリンパ節転移陽性足底末端黒子型悪性黒色腫における即時リンパ
節郭清群と経過観察群の予後比較
井上禎夫^{1,2}(いのうえ さだお)、小泉 滋^{1,3}、山崎直也⁴、一期崎優季⁵、北川敬之⁶、
木庭幸子⁷、佐藤さゆり⁸、高井利浩⁹、土居礼一¹⁰、中村泰大¹
¹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²獨協医科大学 皮膚科、
³千葉大学 皮膚科、⁴国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、
⁵熊本大学 皮膚科・形成外科、⁶三重大学 皮膚科、⁷信州大学 皮膚科、
⁸札幌医科大学 皮膚科、⁹兵庫県立がんセンター 皮膚科、¹⁰久留米大学 皮膚科

10:30～11:00 石原・池田賞表彰式・発表

11:10～12:10 Special Lecture 1 【Melanoma Genetics and New WHO Classification】

抄録 P. 59

座長：肥田 時征（札幌医科大学 皮膚科）

SL1-1 Genetic Abnormalities of Melanoma in Japan

Tokimasa Hida

Department of Dermatology, Sapporo Medical University School of Medicine,
Sapporo, Japan

SL1-2 New WHO Classification and Genetic Abnormalities in Melanoma

Sook Jung Yun

Department of Dermatology, Chonnam National University Medical School Gwangju,
Korea

12:20～13:20 ランチョンセミナー 1 【皮膚がん治療の進化と深化】

抄録 P. 105

座長：奥山 隆平（信州大学 皮膚科）

山崎 直也（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）

LS1-1 メラノーマ術後補助療法—再発抑制と予後改善のための包括的アプローチ—

竹之内辰也（たけのうち たつや）

新潟県立がんセンター新潟病院

LS1-2 進行期メラノーマ治療における ICI の意義を考える～最適な治療提案のために～

木庭幸子（きにわ ゆきこ）

信州大学 皮膚科

LS1-3 上皮系皮膚悪性腫瘍治療における抗 PD-1 抗体の役割

藤村 卓（ふじむら たく）

東北大学 皮膚科

共催：小野薬品工業（株）/ブリストル・マイヤーズ スクイブ（株）

13:30～14:30 Special Lecture 2 【EADO-JSCS Commemorative Lecture】

抄録 P. 61

座長：奥山 隆平（信州大学 皮膚科）

SL2 Achievements of dermatooncology in Europe

Reinhard Dummer

Department of Dermatology, University of Zürich, University Hospital of Zürich and
Kantonsspital Aarau, Switzerland

SP1 リアル鼎談：Ackerman 先生が伝えたかったこと齋田俊明¹（さいだ としあき）、赤須玲子²¹信州大学名誉教授、²医療法人えいこう会赤須医院 皮膚科

15:50～17:50 教育講演 2【診療ガイドライン 2025：改訂のポイントと皮膚がん取扱い規約】

抄録 P. 75

座長：中村 泰大（埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科）

安齋 眞一（PCL 東京 病理・細胞診センター）

EL2-1 メラノーマ

福島 聡（ふくしま さとし）

熊本大学 皮膚科

EL2-2 有棘細胞癌

高井利浩（たかい としひろ）

兵庫県立がんセンター 皮膚科

EL2-3 基底細胞癌

帆足俊彦（ほあし としひこ）

日本医科大学 皮膚科

EL2-4 乳房外パジェット病松下茂人¹（まつした しげと）、梶原一亨²、筒井啓太³、平井郁子⁴、前川武雄⁵、
前田拓哉⁶、大熊加恵⁷、前田達夫⁸、中村泰大⁹¹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、²熊本大学 皮膚科・形成外科、³福岡大学 皮膚科、⁴慶應義塾大学 皮膚科、⁵自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、⁶北海道大学 皮膚科、⁷国立がん研究センター中央病院 放射線治療科、⁸乳房外パジェット病患者会（シエスタ会）、⁹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科**EL2-5 皮膚血管肉腫**

藤澤康弘（ふじさわ やすひろ）

愛媛大学 皮膚科

EL2-6 皮膚リンパ腫

濱田利久（はまだ としひさ）

国際医療福祉大学 皮膚科

EL2-7 メルケル細胞癌

中村元樹（なかむら もとき）

名古屋市立大学 皮膚科

EL2-8 『皮膚がん取扱い規約 第3版 β版』の解説後藤啓介^{1,2,3,4,5,6,7,8,9} (ごとう けいすけ)

¹がん研究会有明病院 病理部、²都立駒込病院 病理科、³東京医科大学 人体病理学分野、
⁴静岡がんセンター 病理診断科、⁵中東遠総合医療センター 病理診断科、
⁶大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科、⁷大阪医療センター 臨床検査科・病理診断科、
⁸兵庫県立がんセンター 病理診断科、⁹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科

B 会場 (2F ハイネスホール)**9:00~10:30 CPC・固形がん****抄録 P. 121**

オーガナイザー：後藤 啓介 (がん研究会有明病院 臨床病理センター病理部 他)
 後藤 寛之 (大阪公立大学 皮膚科)
 コメンテーター：小川 浩平 (市立奈良病院 病理診断センター)

CPC1-1 術後1年で腋窩リンパ節転移を認めた皮膚腫瘍の1例

小松麻衣¹ (こまつ まい)、中川智絵¹、桑原史郎¹、野崎尋意¹、菅原基史¹、大石泰史²、
 湯澤明夏³、北田正博⁴、岸部麻里¹、山本明美¹
¹旭川医科大学 皮膚科、²名寄市立総合病院 皮膚科、³旭川医科大学 病理部、
⁴旭川医科大学 乳腺外科

CPC1-2 右腹部の皮角を伴う紅色局面

大塚一輝¹ (おおつか かずき)、木村 中¹、本田 進¹、虻川真澄¹、堀内美恵¹、
 中里信一²、外丸詩野²、平木 翼³、後藤啓介^{3,4,5,6}
¹函館中央病院 形成外科、²函館中央病院 病理診断科、
³静岡県立静岡がんセンター 病理診断科、⁴大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科、
⁵がん・感染症センター都立駒込病院 病理科、⁶兵庫県立がんセンター 皮膚科

CPC1-3 手指に発症した皮下腫瘍

森 龍彦¹ (もり たつひこ)、山田匠希²、山本俊幸¹
¹福島県立医科大学 皮膚科、²福島県立医科大学 病理診断科

CPC1-4 診断に苦慮した結節性腫瘍の1例

千川欽士 (ほしかわ かと)、帆足俊彦、刀祢勇樹、佐伯秀久
 日本医科大学 皮膚科

CPC1-5 左前腕の有茎性紅色結節を認めた1例

岩田昌史 (いわた まさし)、戸澤貴久、生駒宗禎、青木恵美、後藤啓介、松下茂人
 NHO鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科

CPC1-6 左耳前部皮膚腫瘍

奥村健悟¹ (おくむら けんご)、日置紘二郎¹、田中 了¹、塩見達志²、青山裕美¹
¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 病理学

11:10~12:10 教育講演 1 【がん患者の緊急】

抄録 P. 73

座長：爲政 大幾（医誠会国際総合病院 皮膚科）
加藤 潤史（札幌医科大学 皮膚科）

EL1-1 国立がん研究センター 中央病院、東病院 皮膚腫瘍科の緊急入院について

陣内駿一（じんない しゅんいち）

国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科

EL1-2 皮膚がんにおける Oncology emergency 症例から学ぶ

中野英司（なかの えいじ）

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

12:20~13:20 ランチョンセミナー 2

抄録 P. 108

座長：藤澤 康弘（愛媛大学 皮膚科）

LS2 周術期メラノーマの治療戦略

吉野公二（よしの こうじ）

がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科

共催：MSD（株）

15:50~16:50 教育講演 3 【皮膚腫瘍診療の経済学】

抄録 P. 83

座長：前川 武雄（自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科）

EL3-1 皮膚腫瘍診療の経済学—がんセンターの立場から

竹之内辰也（たけのうち たつや）

新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科

EL3-2 大学病院における皮膚腫瘍診療と行動経済学の視座

大塚篤司（おおつか あつし）

近畿大学 皮膚科

17:00~17:30 イブニングセミナー

抄録 P. 117

座長：氏家 英之（北海道大学 皮膚科）

ES イルミアはいる薬？いない薬？～ダジャレにもならないこの薬のポジショニングとは？～

安部正敏（あべ まさとし）

札幌皮膚科クリニック

共催：サンファーマ（株）

C 会場 (2F リージェントホール)

9:00~10:20 一般演題 1 【上皮系悪性腫瘍】

抄録 P. 127

座長：岩田 洋平（藤田医科大学 皮膚科）
船越 建（慶應義塾大学 皮膚科）

C-1-1 根治切除不能な上皮系皮膚悪性腫瘍に対して PD-1 抗体で加療した 6 例の検討
坂本拓海（さかもと たくみ）、松原大樹、岸 佳苗、佐々木亘、水野隼登、菅 崇暢、
田中暁生
広島大学 皮膚科

C-1-2 当院における上皮系皮膚悪性腫瘍に対するニボルマブの治療経験
小坂祐子（こさか ゆうこ）、盛岡拓哉、陣内駿一、高橋 聡
国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科

C-1-3 当科における上皮系皮膚悪性腫瘍に対するニボルマブ治療のまとめ
木庭幸子（きにわ ゆきこ）、面高俊和、中村謙太、高沢裕子、奥山隆平
信州大学 皮膚科

C-1-4 有棘細胞癌に対する抗 PD-1 抗体の検討
中野英司（なかの えいじ）、緒方 大、並川健二郎、山崎直也
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

C-1-5 ニボルマブで加療した進行期有棘細胞癌の 3 例
中村貴之（なかむら よしゆき）、石月翔一郎、乃村俊史
筑波大学 皮膚科

C-1-6 脳実質浸潤を来した有棘細胞癌にニボルマブが著効した 1 例
吉野啓純（よしの けいじゅん）、川原 祐、藤野里砂、三好理一、猪爪隆史
千葉大学 皮膚科

C-1-7 進行期皮膚付属器癌に対するニボルマブの効果についての検討
石月翔一郎（いしづき しょういちろう）、上原治朗、鈴木魁杜、芝原与喜、松崎友里江、
吉野公二
がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科

C-1-8 ニボルマブが奏効した転移性エクリン汗孔癌の 1 例
西尾祐紀（にしお ゆうき）、小倉康晶、本田哲也
浜松医科大学 皮膚科

C-1-9* ニボルマブが一時的に奏効した進行期エクリン汗孔癌の 1 例
西原桃子（にしはら ももこ）、江藤博文、檜原 亮、持田耕介、天野正宏
宮崎大学 皮膚科

C-1-10*

乳頭部に生じた汗孔癌の1例

蒲原礼央^{1,2} (かもはら れお)、帆足俊彦¹、刀祢勇樹¹、大谷咲貴¹、森田 孝²、佐伯秀久¹

¹日本医科大学 皮膚科、²日本医科大学多摩永山病院 皮膚科

11:10~12:10 一般演題2【メラノーマ(眼部・稀な例)】

抄録 P. 130

座長：原田 和俊(東京医科大学 皮膚科)

伊東 孝通(九州大学 皮膚科)

C-2-1

京都府立医科大学で治療した眼部悪性黒色腫47例の検討

小西悠介¹ (こにし ゆうすけ)、浅井 純¹、渡辺彰英²、外園千恵²

¹京都府立医科大学 皮膚科、²京都府立医科大学 眼科

C-2-2*

両眼のぶどう膜悪性黒色腫との鑑別を要した Bilateral diffuse uveal melanocytic proliferation の1例

武藤容典¹ (むとう よしのり)、小川陽一¹、川井将敬²、大石直輝²、後藤啓介³、
島田眞路¹、川村龍吉¹

¹山梨大学 皮膚科、²山梨大学 人体病理学講座、

³大阪府立病院機構大阪国際がんセンター 病理・細胞診断科

C-2-3*

当院で経験した眼瞼結膜メラノーマの4例

鈴木魁杜¹ (すずき かいと)、芝原与喜¹、松崎友里江¹、上原治朗¹、後藤啓介²、
河内 洋²、北野滋久³、吉野公二¹

¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 病理部、

³がん研究会有明病院 先端医療開発科

C-2-4*

ニボルマブとマイクロ波焼灼術で加療した脈絡膜悪性黒色腫肝転移の1例

湯原瑞希¹ (ゆはら みずき)、吉田貴弘¹、山崎 修¹、兒玉達夫²、片岡祐俊³、飛田博史³

¹島根大学 皮膚科、²島根大学 先端がん治療センター、³島根大学 肝臓内科

C-2-5

肺原発悪性黒色腫の1例

猪狩翔平 (いがり しょうへい)、森 龍彦、山本俊幸

福島県立医科大学 皮膚科

C-2-6

Malignant melanoma with rhabdoid differentiation の1例

石塚友記子 (いしづか ゆきこ)、高井彩也華、端本宇志、佐藤貴浩

防衛医科大学校 皮膚科

C-2-7*

センチネルリンパ節に転移を認め、術後補助療法として Nivolumab を投与した小児悪性黒色腫の1例

盛岡拓哉¹ (もりおか たくや)、陣内駿一¹、笹原有紀子²、荒川 歩³、細野亜古⁴、
小坂祐子¹、並川健二郎⁵、高橋 聡¹

¹国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科、

²国立がん研究センター東病院 病理・臨床検査科、

³国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科、⁴国立がん研究センター東病院 小児腫瘍科、

⁵国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

座長：阿部理一郎（新潟大学 皮膚科）

菅谷 誠（国際医療福祉大学 皮膚科）

LS3-1 皮膚リンパ腫診療ガイドライン 2025 におけるベキサロテンの位置づけ

宮垣朝光（みやがき ともみつ）

聖マリアンナ医科大学 皮膚科

LS3-2 ATL の皮膚病変に対するタルグレチンの有効性と安全性

米倉健太郎（よねくら けんたろう）

今村総合病院 皮膚科

共催：（株）ミノファージェン製薬

座長：山本 有紀（和歌山県立医科大学 皮膚科）

吉野 公二（がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科）

C-3-1 間質内小線源治療を行った口唇癌 9 例の検討山本由美子¹（やまもと ゆみこ）、丸山彩乃¹、増井浩二²、武中 正²、吉野祐樹²、鈴木 弦²、浅井 純¹¹京都府立医科大学 皮膚科、²京都府立医科大学 放射線科**C-3-2** 急速進行性の顔面有棘細胞癌に対して放射線照射施行し、原発巣は寛解したもの
の短期間で転移をきたした 2 例原 義明¹（はら よしあき）、碓 真雄¹、伊丹綾香¹、宮垣朝光¹、門野岳史¹、中村直樹²、小西秀弥²、堀江怜央³、藤井正文³¹聖マリアンナ医科大学 皮膚科、²聖マリアンナ医科大学 放射線治療科、³聖マリアンナ医科大学 耳鼻咽喉科**C-3-3** 薬物療法を行った進行期陰茎癌の 2 例日浦 梓¹（ひうら あずさ）、田中隆光¹、深谷早希¹、戸村八蓉生¹、福安厚子¹、林耕太郎¹、鎌田昌洋¹、笹島ゆう子²、多田弥生¹¹帝京大学 皮膚科、²帝京大学 病理部**C-3-4** 治療選択に苦慮した高齢者頭部有棘細胞がんの 1 例

田中伶奈（たなか れいな）、武田有生、藤島智慧子、田井志正、小倉香奈子、長野 徹

神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科

C-3-5 ラモトリギンを長期内服中に生じた若年女性の後頭部有棘細胞癌

須長幸嗣（すなが よしつぐ）、須山孝雪、横山恵美、松木康譲、松原真生、片桐一元

獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

C-3-6*

びまん性大細胞性リンパ腫に生じた HPV 関連外陰部多発 SCC の 1 例

佐藤友隆¹ (さとう ともたか)、岡庭 彩¹、鈴木孝太²、竹口修平²、小林尚史²、
藤野 節³、山崎一人³

¹帝京大学ちば総合医療センター 皮膚科、²帝京大学ちば総合医療センター 形成外科、

³帝京大学ちば総合医療センター 病院病理部

16:50~17:40 一般演題 8【その他】

抄録 P. 144

座長：上原 治朗 (がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科)

能登 舞 (秋田大学 皮膚科)

C-4-1

胸腺癌による Alopecia neoplastica の 1 例

長久大介¹ (ちょうきゅう だいすけ)、脇 裕磨¹、延山嘉真²、朝比奈昭彦²

¹東京慈恵会医科大学柏病院 皮膚科、²東京慈恵会医科大学 皮膚科

C-4-2*

術後 11 年以上を経て鳩尾に生じた転移性乳癌

竹内 聡^{1,2} (たけうち さとし)、松本紗也加¹、膳所菜保子²、伊地知秀樹³、岩崎 健⁴、
米田玲子⁵、久松雄一³、小田義直⁴、中原剛士²

¹浜の町病院 皮膚科、²九州大学 皮膚科、³九州大学 消化器・総合外科学、

⁴九州大学 形態機能病理学、⁵浜の町病院 病理診断科

C-4-3*

ニボルマブ・イピリムマブ併用療法による指尖部細動脈血管炎の 1 例

角総一郎 (かど そういちろう)、佐藤篤子、神谷浩二、大槻マミ太郎、小宮根真弓
自治医科大学 皮膚科

C-4-4*

環状紅斑を初発症状とした小児骨髓異形成症候群の 1 例

楠谷 尚¹ (くすたに なお)、深井和吉^{1,2}、今西明子¹、前川直輝¹、仁谷千賀³

¹大阪市立総合医療センター 皮膚科、²馬場記念病院 皮膚科、

³大阪市立総合医療センター 小児血液・腫瘍内科

C-4-5*

再発を繰り返した腹部皮膚筋上皮癌の 1 例

森戸和奈^{1,2} (もりと かずな)、福井伶奈¹、梅本尚可¹、岡部直太²、前川武雄¹

¹自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、

²自治医科大学さいたま医療センター 病理診断部

C-4-6

医療従事者に生じた放射線角化症 9 例のまとめと皮膚スクリーニングの紹介

六戸大樹¹ (ろくのへ だいき)、相樂千尋¹、赤坂英二郎¹、佐々木英嗣²、浅利 享²、
熊谷玄太郎²、石橋恭之²、金子高英³

¹弘前大学 皮膚科、²弘前大学 整形外科、³順天堂大学浦安病院 皮膚科

D 会場 (2F エンプレスホール)

9:00~10:20 一般演題 3 【手術】

抄録 P. 132

座長：林 礼人（横浜市立大学 形成外科）
吉龍 澄子（大阪医療センター 形成外科）

D-1-1 外陰部と肛門周囲に病変を認めた乳房外パジェット病の 1 例

横見明典（よこみ あきのり）、直原成美、須藤ゆか、後藤範子
市立豊中病院 皮膚科

D-1-2 巨大 Bowen 病の 2 例

刀祢直樹¹（とね なおき）、日浦 梓¹、深谷早希¹、戸村八蓉生¹、福安厚子¹、
林耕太郎¹、田中隆光¹、鎌田昌洋¹、笹島ゆう子²、多田弥生¹
¹帝京大学 皮膚科、²帝京大学 病理部

D-1-3* 眉間部再発性基底細胞癌：頭皮前額皮弁を主とした複合皮弁再建

中山翔太¹（なかやま しょうた）、入江浩之¹、中島沙恵子¹、藤本正数²、遠藤雄一郎¹、
椛島健治¹
¹京都大学 皮膚科、²京都大学 病理診断科

D-1-4 爪周囲に生じた Bowen 病/有棘細胞癌における指趾骨温存手術の治療成績の検討

成瀬早紀（なるせ さつき）、前田拓哉、田中有沙、氏家英之
北海道大学 皮膚科

D-1-5 下口唇に疣状癌と扁平上皮癌が併発した 1 例

須山孝雪（すやま たかゆき）、横山恵美、松木康譲、須長幸嗣、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

D-1-6 Posterolateral neck dissection を施行した頭部再発皮膚有棘細胞癌の治療経験

前田 拓（まえだ たく）、北條正洋、石川耕資、舟山恵美
北海道大学 形成外科

D-1-7* 切除範囲と再建方法に検討を要した中指指尖部 Digital papillary adenocarcinoma の 1 例

宮田明久生¹（みやた あきお）、市原寛大¹、宮田夏実¹、林 成司¹、山尾 健^{1,2}、
林 利彦¹
¹旭川医科大学 形成外科、²北海道大学 形成外科

D-1-8* 再発頭頂部汗腺癌に対して拡大切除、頭蓋骨外板切除、皮弁作成後に局所再発し放射線治療を行った 1 例

嘉多山絵理¹（かたやま えり）、名嘉眞健太¹、土居礼一¹、武藤一考²、名嘉眞武國¹
¹久留米大学 皮膚科、²公立八女総合病院 皮膚科

D-1-9

指悪性黒色腫に対する深達度に応じた外科的治療の経験

西條広人 (さいじょう ひろと)、岩尾敦彦、森内由季、猪狩紀子、葉石慎也、
高橋美保子、黒木大地、檜山和也
長崎大学 形成外科

D-1-10*

上眼瞼の Free tarsal graft 採取部に生じた肉芽腫の3例

田中雄也¹ (たなか ゆうや)、木戸一成¹、溝渕朋佳²、中島勇魚²、中井浩三¹
¹高知大学 皮膚科、²高知大学 眼科

11:10~12:10 一般演題 4【SCC 1】

抄録 P. 135

座長：高塚 純子 (新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科)
前田 拓哉 (北海道大学 皮膚科)

D-2-1

ポリコナゾール内服中に生じた浸潤性有棘細胞癌 6 例の検討

安倍吉郎¹ (あべ よしろう)、岩本晃一²、長坂信司¹、峯田一秀¹、山下雄太郎¹、橋本一郎¹
¹徳島大学 形成外科、²徳島県立中央病院 形成外科

D-2-2

脂腺増殖を伴った日光角化症由来の多発性頭頸部有棘細胞癌の1例

爲政萌子 (いせい もえこ)、富尾颯生、藤本 萌、吉村亜紀、小澤健太郎
大阪医療センター 皮膚科

D-2-3

初診時に耳下腺リンパ節転移を来していた超高齢者の左こめかみ部に生じた扁平上皮癌

芳賀貴裕¹ (はが たかひろ)、山本 惇¹、瀬川康二郎^{1,2}
¹気仙沼市立病院 皮膚科、²東北大学 皮膚科

D-2-4

表皮嚢腫から発生したと考えられた Carcinosarcoma の1例

柿山真喜子¹ (かきやま まきこ)、木蜜 徹¹、金子高英²、阿部澄乃¹
¹東京臨海病院 皮膚科、²順天堂大学浦安病院 皮膚科

D-2-5

集学的治療で救肢しえた下腿有棘細胞癌の1例

横山恵美 (よこやま めぐみ)、須山孝雪、松木康譲、松原真生、須長幸嗣、片桐一元
獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

D-2-6*

脂漏性角化症の局面内に生じた左乳房部有棘細胞癌の1例

足立孝司 (あだち こうじ)、青野将太、吉田雄一
鳥取大学 皮膚科

D-2-7

臀部の慢性潰瘍から生じた有棘細胞癌術後のリンパ節転移に対して、Nivolumab が奏効した1例

杉浦暖人 (すぎうら はるひと)、石川秀幸、山川浩平、山口由衣
横浜市立大学 皮膚科

12:20～13:20 ランチョンセミナー 4【ガイドラインと実臨床から紐解く日本のメラノーマ治療の「今」】
抄録 P. 111

座長：松下 茂人（鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科）
福島 聡（熊本大学 皮膚科）

LS4-1 基調講演 メラノーマ診療ガイドライン 2025 を踏まえた日本人 BRAF 陽性メラノーマにおける治療戦略

並川健二郎（なみかわ けんじろう）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

LS4-2 症例ディスカッション 日本人メラノーマ治療の現状と課題
～新ガイドラインを踏まえて～

伊東孝通（いとう たかみち）
九州大学

ディスカッサント

松下茂人（まつした しげと）
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科
並川健二郎（なみかわ けんじろう）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

共催：ノバルティス ファーマ（株）

15:50～16:50 一般演題 9【メラノーマ（粘膜）】 抄録 P. 146

座長：内 博史（九州がんセンター 皮膚科）
大江 秀一（大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科）

D-3-1 当院の粘膜悪性黒色腫の現状、治療戦略について

陣内駿一（じんない しゅんいち）、盛岡拓哉、小坂祐子、高橋 聡
国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科

D-3-2 2014 年以降に当科で経験した粘膜型進行期悪性黒色腫の 25 例の検討

伊藤実奈（いとう みな）、三浦慎平、鎌田啓文、渡辺彩乃、大西正純、前田文彦、
天野博雄
岩手医科大学 皮膚科

D-3-3* 細菌性髄膜炎の診断に難渋した左鼻腔悪性黒色腫の 1 例

三谷のりこ（みたに のりこ）、酒井伽奈、山本有紀、神人正寿
和歌山県立医科大学 皮膚科

D-3-4* ニボルマブ+イピリムマブ併用療法により pseudoprogression を認めた鼻腔悪性黒色腫の 1 例

大塚正樹¹（おおつか まさき）、柚木茉莉那¹、近藤峻平¹、一戸建志²、戸倉新樹¹
¹中東遠総合医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科、²中東遠総合医療センター 腫瘍放射線科

D-3-5

ニボルマブ+イピリムマブ併用療法が著効した鼻腔悪性黒色腫の1例

早川数馬 (はやかわ かずま)、石黒暁寛、前賢一郎、深浦彰子、吉田薫子、入澤亮吉、
原田和俊

東京医科大学 皮膚科

D-3-6*

白金製剤を投与した口腔粘膜原発悪性黒色腫の1例

坂本翔一 (さかもと しょういち)、山本有紀、野田佑奈、西山幸佑、宮崎 健、
田中美奈子、稲葉 豊、神人正寿

和歌山県立医科大学 皮膚科

D-3-7*

当科で経験した外陰部悪性黒色腫の4例

本間雄介¹ (ほんま ゆうすけ)、本田理恵¹、伊藤周作¹、村田和俊²

¹日立総合病院 皮膚科、²QST病院 放射線科

E 会場 (2F クリスタルルーム B)

9:00~10:20 一般演題 5 【付属器腫瘍】

抄録 P. 137

座長：山崎 修 (島根大学 皮膚科)

高井 利浩 (兵庫県立がんセンター 皮膚科)

E-1-1

SCAND 9 例の治療報告

福田朱美^{1,2} (ふくだ あけみ)、岸川さつき³、松本薫郎¹、鶴田成二¹、中山裕一¹、
中野英司¹、緒方 大¹、並川健二郎¹、森 泰昌²、山崎直也¹

¹国立がんセンター中央病院 皮膚腫瘍科、²筑波大学 皮膚科、

³国立がん研究センター中央病院 病理診断科

E-1-2*

術前の抗 HER2 療法が奏効し根治的切除可能となったリンパ節転移を伴った腋窩アポクリン腺癌の1例

芦田敦子^{1,2} (あしだ あつこ)、木庭幸子²、大場崇旦³、高沢裕子²、北村昇矢²、
勝家志歩²、八町祐華²、中村謙太²、奥山隆平²

¹信州大学 臨床研究支援センター、²信州大学 皮膚科、³信州大学 乳腺内分泌外科

E-1-3

下腹部脂腺癌を契機に発見された Muir-Torre 症候群の1例

佐々木亘¹ (ささき わたる)、菅 崇暢¹、岸 佳苗¹、松原大樹¹、新津宏明²、檜井孝夫²、
田中暁生¹

¹広島大学 皮膚科、²広島大学 遺伝子診療科

E-1-4

微小嚢胞性付属器癌の2例

瀧口徹也 (たきぐち てつや)、奥田弘也、松丸多門、中村侑樹、加藤貴秀、北條貴子、
酒井梨穂、柿沼翔太、太田悠介、中川雅裕

浜松医科大学 形成外科

E-1-5 右側腹部に生じた malignant hidroacanthoma simplex の 1 例

伊藤一真 (いとう かずま)、岸 晶子、林 伸和
虎の門病院 皮膚科

E-1-6 タモキシフェンクエン酸塩を投与した皮膚原発アポクリン腺癌の 2 例

大道寺澤 (だいどうじ みお)、三浦慎平、鎌田啓文、井上 剛、渡辺彩乃、天野博雄
岩手医科大学 皮膚科

E-1-7 術 5 年後に再発した右下腿に生じた皮膚腺様嚢胞癌の 1 例

河本宏文 (かわもと ひろふみ)、天方葉子、佐々木奈津子、澤田雄宇
産業医科大学 皮膚科

E-1-8* 若年女性に生じた digital papillary adenocarcinoma の 1 例

中川智絵¹ (なかがわ ともえ)、小松麻衣¹、佐藤祐樹¹、菅原基史¹、高橋千晶¹、
山本明美¹、大石泰史²、湯澤明夏³、谷野美智枝³、岸部麻里¹
¹旭川医科大学 皮膚科、²名寄市立総合病院 皮膚科、³旭川医科大学 病理部

E-1-9 化学療法により切除可能となったアポクリン腺癌の 1 例

大野文嵩 (おおの ふみたか)、一木稔生、伊東孝通、中原剛士
九州大学 皮膚科

E-1-10 眉毛部に生じた微小嚢胞性付属器癌の 1 例

小松崎靖弘¹ (こまつざき やすひろ)、日浦 梓¹、深谷早希¹、戸村八蓉生¹、福安厚子¹、
林耕太郎¹、田中隆光¹、鎌田昌洋¹、笹島ゆう子²、多田弥生¹
¹帝京大学 皮膚科、²帝京大学 病理部

11:10~12:15 一般演題 6【間葉系・組織球系腫瘍】

抄録 P. 140

座長：福本 隆也 (福本皮フ病理診断科 病理診断科)
持田 耕介 (宮崎大学 皮膚科)

E-2-1 若年者に発生した myxoid dermatofibrosarcoma protuberans の 1 例

久保致子¹ (くぼ ゆきこ)、持田耕介¹、塚本智大¹、後田優香²、天野正宏¹
¹宮崎大学 皮膚科、²宮崎県立延岡病院 皮膚科

E-2-2* 血管腫と診断されていた成人先天性腹部隆起性皮膚線維肉腫の 2 例

西本あか奈¹ (にしもと あかな)、桑原大彰¹、伊東慶悟²、許田典男³、赤石諭史¹
¹日本医科大学武蔵小杉病院 形成外科、²日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科、
³日本医科大学武蔵小杉病院 病理診断科

E-2-3 サイバーナイフにより治療したランゲルハンス細胞肉腫の 1 例

奥口大充 (おくぐち ひろむ)、藤村 卓、渡邊愛美、山崎絵美、天貝 諒、神林由美、
橋本 彰、浅野善英
東北大学 皮膚科

E-2-4* 免疫組織化学染色で ALK 陽性を示すも ALK 遺伝子転座を認めなかった FUS::TFCP2 融合を伴う皮膚横紋筋肉腫の 1 例

崎山智基¹ (さきやま ともき)、遠藤雄一郎¹、中山翔太¹、入江浩之¹、辻賢太郎²、藤本正数²、梶島健治¹

¹京都大学 皮膚科、²京都大学 病理診断科

E-2-5 両側乳癌を合併した右乳房部隆起性皮膚線維肉腫の 1 例

佐藤禎子¹ (さとう さちこ)、西盛信幸¹、藤田英樹¹、原由起子²

¹日本大学板橋病院 皮膚科、²日本大学板橋病院 乳腺内分泌外科

E-2-6* 左大腿部未分化多形肉腫と頭部血管肉腫が合併した 1 例

玉腰 和¹ (たまこし かず)、花村拓哉¹、大河内智子¹、松田真佑香¹、浅倉 鎌¹、榊原章浩¹、山本宗平²、酒井 優²

¹安城更生病院 皮膚科、²安城更生病院 病理診断科

E-2-7* 後頭部に生じた atypical fibroxanthoma の 1 例

伏間江貴之 (ふすま え たかゆき)、小川夕貴、雪野祐莉子、吉田哲也

東京医療センター 皮膚科

E-2-8 当科で経験した pleomorphic dermal sarcoma の 2 例

本田 進¹ (ほんだ すすむ)、虻川真澄^{1,2}、山口 瞳^{1,3}、大塚一輝¹、堀内美恵¹、木村 中¹、中里信一⁴、田中 敏^{4,5}

¹函館中央病院 形成外科、²総合南東北病院 形成外科、³北海道大学 形成外科、

⁴函館中央病院 病理診断科、⁵北海道大学 統合病理学教室

15:50~16:55 一般演題 10 【脈管系腫瘍】

抄録 P. 148

座長：清原 祥夫 (静岡県立静岡がんセンター 皮膚科)

大芦 孝平 (埼玉県立がんセンター 皮膚科)

E-3-1 若年で発症した頭部血管肉腫の 1 例

西尾次郎 (にしお じろう)、前田進太郎¹、北岡美羽¹、北野 佑¹、清水恭子¹、大石京介¹、濱口儒人¹、松下貴史¹、島 壮輔²

¹金沢大学 皮膚科、²石川県立中央病院 形成外科

E-3-2* 琉球大学皮膚科での頭部血管肉腫の脳転移 3 例のまとめ

工藤真未 (くどう まみ)、柳 輝希、大平 葵、高橋健造

琉球大学 皮膚科

E-3-3 化学療法抵抗性となるも、治療薬変更を繰り返し長期生存している頭部血管肉腫の 1 例と当科血管肉腫のまとめ

鎌田啓文 (かまだ ひろふみ)、三浦慎平、大西正純、前田文彦、天野博雄

岩手医科大学 皮膚科

E-3-4

経カテーテル動脈塞栓術により出血を制御し得た頭部血管肉腫の2例

吉野啓純¹ (よしの けいじゅん)、川島秀介¹、萩原和貴¹、三好理一¹、塚本利朗¹、猪爪隆史¹、土屋智史²

¹千葉大学 皮膚科、²千葉大学 放射線科

E-3-5

非典型的な臨床像を呈した血管肉腫の1例

寺本薫子 (てらもと かおるこ)、田嶋安紀、大谷悠里、竹澤香織、久米典子、谷崎英昭
関西医科大学 皮膚科

E-3-6

Stewart-Treves 症候群の3例

川野明日香¹ (かわの あすか)、塚本利朗¹、川島秀介¹、藤野里砂¹、吉野啓純¹、鈴木啓仁¹、和田 武²、黒崎弘正³、猪爪隆史¹

¹千葉大学 皮膚科、²帝京大学 放射線科、³江戸川病院 放射線科

E-3-7

タキサン系薬剤による維持療法を中止した頭部血管肉腫5例の経過

堀本浩平 (ほりもと こうへい)、大瀧佑介、加藤潤史、佐藤さゆり、松井馨之、宇原 久

札幌医科大学 皮膚科

E-3-8

難治性乳糜胸を合併した頭部血管肉腫の1例

梅木真由子¹ (うめき まゆこ)、佐藤崇興¹、波多野豊¹、三浦真理子²、甲斐宜貴²

¹大分大学 皮膚科、²別府医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科